

環境学習会 2025年4月度

E01「SDGsの始まりを学習しよう」

(国連 SDGs広報・外務省SDGs広報・ODA開発協力白書を基に作成)

会員 K.T.

2015 年、国連サミットにおいて SDGs2030アジェンダ(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)が採択された。この SDGs は、2000 年の国連サミットで合意された MDGs(ミレニアム開発目標/Millennium Development Goals)の後継で国際社会の新しい共通目標として採択されたものである。

前身となるミレニアム開発目標(MDGs)は、開発途上国の貧困削減を掲げ、8 つの目標、21 のターゲット、60 の指標が設定された国際目標で、2015 年までに貧困や飢餓、差別の撲滅など 8 つの目標と、より具体的に示した 21 のターゲット、そして進捗状況を測るための 60 の指標が定められ、世界の貧困の半減などを目指し、2015 年までの達成を目指して国際社会が掲げてきた目標である。

M の「ミレニアム」(千年紀)とは、1000 年ごとの区切りを意味する。

ミレニアム開発目標 (MDGs) Millennium Development Goals	
 極度の貧困と飢餓の撲滅 1日1.25ドル未満で生活する人口の割合を半減させる - 飢餓に苦しむ人口の割合を半減させる	 妊産婦の健康の改善 妊産婦の死亡率を 4 分の 1 に削減する
 初等教育の完全普及の達成 すべての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする	 HIV/ エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止 HIV/ エイズの蔓延を阻止し、その後減少させる
 ジェンダー平等推進と女性の地位向上 すべての教育レベルにおける男女格差を解消する	 環境の持続可能性確保 安全な飲料水と衛生施設を利用できない人口の割合を半減させる
 乳幼児死亡率の削減 5 歳未満児の死亡率を 3 分の 1 に削減する	 開発のためのグローバルなパートナーシップの推進 民間部門と協力し、情報・通信分野の新技术による利益が得られるようにする
2015年版 開発協力白書	

MDGs のほとんどの目標は 1990 年を基準年、2015 年を達成期限としていた。達成期限となった 2015 年に MDGs の達成状況が報告され、2015 年までに達成すべき目標は、一定の効果を上げることには成功した。

しかし、まだ十分とはいえず、世界は、なお貧困、紛争、気候変動、感染症等、多くの課題に直面しており、このままでは、人類は安定して暮らし続けることができなると心配されていた。その危機感から、世界中のさまざまな人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2015 年、国連で 2030 年までの新たな開発目標となる「持続可能な開発目標 SDGs(Sustainable Development Goals)」が採択された。

SDGs は、私たちみんなが、世界中の人々が、生きとし生けるもの全てが、ひとつしかない「宇宙船地球号」の中で暮らし続けられる「持続可能な世界」を実現するために進むべき道を示したものである。

MDGsを引き継いだ SDGs は、世界各国の取り組みによって、それぞれの目標を達成することが求められている。SDGs は MDGs で行われてきた内容を発展させたものであるが、いくつかの面において MDGs と決定的な違いがある。それは、MDGs が発展途上国の発展を目的としていたのに対して、SDGs は発展途上国、先進国を問わず解決すべき課題を明示していることにある。SDGsは、全人類が解決すべき共通の目標として提示されていることが決定的な違い、といえる。

このことは、2015 年の国連総会において全会一致で採択された「我々の世界を変革する 持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」という、「前文」に明記されている。

SDGsの始まりを学ぶことにつながるので、この「前文」の和訳を読んでみましょう。

＜「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」・「前文」和訳・引用＞

「この計画(アジェンダ)は、人間と地球、そして 繁栄のための行動計画です。

そして、より大きな自由と、平和を追い求めるものでもあります。

わたしたちは、持続可能な世界を築くためには、

極度の貧困をふくめ、あらゆる形の、そして、あらゆる面の貧困をなくすことが一番大きな、解決しなければならない課題であると、みとめます。

すべての国と人びとが協力しあってこの計画を実行します。

わたしたちは、人びとを貧困や欠乏からときはなち、地球を守ることを決意します。

わたしたちは、持続可能で、強くしなやかな世界に向かう道を歩んでいくために、今すぐ大胆で変化をもたらす行動を起こすことを決意します。

ともに持続可能な世界へ向かうこの旅をはじめるにあたり、だれひとり取り残さないことを誓います。

わたしたちが発表する 17 の目標と 169 のターゲットは、このアジェンダがどれだけ広く高い目標をかかげているかを表しています。

これらの目標やターゲットは、ミレニアム開発目標をもとにし、達成できなかった目標をすべて達成することを目指しています。

すべての人の人権を実現し、ジェンダーの平等、そして女性や女の子の能力を引き出すことを目指します。

これらの目標とターゲットは互いにつながり分けられないものであり、持続可能な開発の3つの側面、つまり、「経済」と「社会」と「環境」のバランスを保つものです。

これらの目標とターゲットは、人類と地球にとってとても大事な分野の、2030 年までの行動を進めるものになるでしょう。(出典: 日本ユニセフ和訳文)」



さて、SDGsの始まりと、世界がSDGsの目標を求めた経緯の概要を述べてきました。SDGsは、どこか遠いところで、偉い人達がやっているものではありません。私たち一人ひとりが、私たちの子供・孫たち、その次の世代へと、人類全体が未来を生きる持続可能な世界へ向かうための目標、としています。

まずは、2015年に世界中の人類が解決すべき課題として明示した「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ(計画)」を、SDGsの始まりとして、理解しておきましょう。

なお、「SDGs2030アジェンダ」では、「前文」に続いて、「5つの P」の決意が述べられ、その後に53項目の「宣言」と6項目の「SDGsとターゲット」が続き、SDGsロゴマークでお馴染みの目標1から目標17の持続可能な開発目標が具体的に述べられます。その後、更に「実施手段とグローバル・パートナーシップ」の12項目及び「フォローアップとレビュー」の20項目が続きます。2030アジェンダ(計画)は、計91項目に上る壮大な計画です。それらは次回以降、いくつかの項目に絞って、少しずつ学習しましょう。

以上